



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場会社名 太平洋セメント株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 5233 URL <http://www.taiheiyo-cement.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 修二
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 荒木 誠一 (TEL) 03-5531-7334
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	398,411	12.7	27,438	158.2	25,631	461.2	10,176	—
25年3月期第2四半期	353,519	1.8	10,625	84.3	4,567	310.2	539	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 27,255百万円(—%) 25年3月期第2四半期 1,962百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	8.29	—
25年3月期第2四半期	0.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,013,360	244,272	21.1
25年3月期	982,473	219,826	19.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 213,401百万円 25年3月期 191,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
26年3月期	—	2.00			
26年3月期(予想)			—	3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	824,000	10.2	64,000	57.4	57,000	74.5	21,000	85.4	17.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名) 、除外 ー社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー資料(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	1,237,800,586株	25年3月期	1,237,800,586株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	9,275,289株	25年3月期	9,543,868株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	1,228,341,435株	25年3月期2Q	1,228,309,260株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、経済情勢、市場需要、原燃料価格、為替レート等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による経済政策や日銀の大規模金融緩和、及び東日本大震災の復興需要などにより景気の回復傾向が続きました。

米国経済は、量的金融緩和縮小の観測はありましたが、緩やかな景気拡大が続きました。中国経済は、固定資産投資などの指標について持ち直し傾向にありますが、回復力はまだ弱い状況です。その他アジア地域経済は、多くの地域で景気拡大が持続しているものの、一部の地域では景気の拡大傾向に鈍化がみられました。

このような状況の中で、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,984億1千1百万円（対前年同期448億9千2百万円増）、営業利益は274億3千8百万円（対前年同期168億1千3百万円増）、経常利益は256億3千1百万円（対前年同期210億6千4百万円増）、四半期純利益は101億7千6百万円（対前年同期96億3千7百万円増）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。各金額については、セグメント間取引の相殺消去前の数値によっております。

① セメント

セメントの国内需要は、東日本大震災の復興工事やその他災害の復旧工事、都市部における民間再開発工の増加により、2,290万屯と前年同期に比べ7.3%増加しました。その内、輸入品は40万屯と前年同期に比べ10.7%増加しました。また、総輸出数量は423万屯と前年同期に比べ15.5%減少しました。

このような情勢の下、当社グループにおけるセメントの国内販売数量は受託販売分を含め804万屯と前年同期に比べ9.1%増加しました。また、輸出数量は154万屯と前年同期に比べ8.6%減少しました。

米国西海岸のセメント、生コンクリート事業は、多くの地域で出荷数量が伸び、市況も概ね回復傾向を示しています。中国のセメント事業は、価格競争激化の影響を受けました。ベトナムのセメント事業は、好調な輸出により業績を伸ばしました。フィリピンのセメント事業は、堅調な内需に支えられ好調に推移しました。

以上の結果、売上高は2,575億7千4百万円（対前年同期234億3百万円増）、営業利益は185億1千6百万円（同123億8百万円増）となりました。

② 資源

骨材事業は、首都圏や東北地区などでの出荷が増加し、販売数量は前年同期を上回りました。鉱産品事業は、鉄鋼向け石灰石の出荷などが堅調に推移しており、販売数量は前年同期を上回りました。建設発生土処理事業は、好調に推移しており、受入数量は前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は455億4千8百万円（対前年同期46億3千4百万円増）、営業利益は34億4千5百万円（同18億3千2百万円増）となりました。

③ 環境事業

脱硫材や石膏の販売が好調に推移したことに加え、石炭灰や都市ごみ焼却灰の処理収入も増加しました。また、災害廃棄物処理の取り組みは、前年を上回る規模で進みました。

以上の結果、売上高は488億7千1百万円（対前年同期136億7千3百万円増）、営業利益は38億6千2百万円（同7億1千4百万円増）となりました。

④ 建材・建築土木

地盤改良工事が主に首都圏の旺盛な需要に支えられて順調に伸長し、ALC（軽量気泡コンクリート）などの建設材料も総じて好調に推移しました。

以上の結果、売上高は393億4千2百万円（対前年同期43億3千8百万円増）、営業利益は6億1千1百万円（前年同期は7億8千3百万円の営業損失）となりました。

⑤ セラミックス・エレクトロニクス

セラミックス事業は、半導体製造装置及び液晶製造装置向け製品ともに、ユーザーの設備投資が回復し堅調に推移しました。エレクトロニクス事業は販売数量が前年同期を下回りました。

以上の結果、売上高は54億9千4百万円（対前年同期14億2千万円減）、営業損失は1億8百万円（前年同期は7億3千6百万円の営業損失）となりました。

⑥ その他

売上高は325億1千4百万円（対前年同期8億2千8百万円増）、営業利益は13億5千3百万円（同6千9百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は前連結会計年度末に比べ308億円増加して1兆133億円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ50億円増加して3,358億円、固定資産は同257億円増加して6,775億円となりました。流動資産増加の主な要因は現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産増加の主な要因は投資有価証券が増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ64億円増加して7,690億円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ68億円減少して4,557億円、固定負債は同133億円増加して3,133億円となりました。流動負債減少の主な要因は短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債増加の主な要因は長期借入金が増加した一方で、社債が増加したことによるものであります。有利子負債（短期借入金、1年内償還予定の社債、社債、長期借入金の合計額）は、前連結会計年度末に比べ33億円減少して4,705億円となりました。

純資産は前連結会計年度末に比べ244億円増加して2,442億円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定の増加や四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済は、緊急経済対策による効果が本格化することなどにより、着実に景気拡大が続くことが期待されますが、米国の金融・財政政策や欧州の債務問題など、海外経済をめぐる不確実性が大きく、先行きは予断を許さない状況が続くものと思われまます。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、主要事業である国内セメント事業において、東日本大震災の復興需要や政府・日銀の経済・金融政策による下支えにより官需、民需とも堅調に推移することが期待されるものの、諸資材の供給不安や需要期の人手不足などによる工事の遅れが懸念されます。

また、米国景気は、緩やかな拡大が続いておりますが、金融政策の動向や財政問題への対応による影響などについて今後も注視する必要があります。

このような状況を勘案し、本日「平成26年3月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した金額を計上しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,379	67,352
受取手形及び売掛金	174,336	166,469
商品及び製品	25,920	28,030
仕掛品	4,788	6,462
原材料及び貯蔵品	36,455	38,487
その他	31,413	30,723
貸倒引当金	△1,587	△1,723
流動資産合計	330,706	335,803
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	146,664	145,055
機械装置及び運搬具(純額)	108,314	110,331
土地	152,625	154,742
その他(純額)	49,884	61,182
有形固定資産合計	457,489	471,311
無形固定資産		
のれん	11,303	11,538
その他	30,275	30,923
無形固定資産合計	41,578	42,461
投資その他の資産		
投資有価証券	85,128	91,886
その他	74,282	78,506
貸倒引当金	△6,713	△6,609
投資その他の資産合計	152,698	163,783
固定資産合計	651,766	677,557
資産合計	982,473	1,013,360

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	85,010	81,155
短期借入金	274,760	267,773
1年内償還予定の社債	11,478	11,665
未払法人税等	11,000	16,368
賞与引当金	4,711	4,922
役員賞与引当金	7	7
事業譲渡損失引当金	2,971	2,519
その他の引当金	1,922	1,632
その他	70,730	69,672
流動負債合計	462,591	455,717
固定負債		
社債	32,385	47,310
長期借入金	155,336	143,828
退職給付引当金	25,448	26,812
役員退職慰労引当金	505	474
関係会社事業損失引当金	138	138
特別修繕引当金	343	342
資産撤去引当金	1,866	1,863
資産除去債務	8,032	7,590
その他	75,998	85,010
固定負債合計	300,054	313,370
負債合計	762,646	769,088
純資産の部		
株主資本		
資本金	86,174	86,174
資本剰余金	50,636	50,690
利益剰余金	91,174	98,898
自己株式	△934	△901
株主資本合計	227,051	234,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,168	5,409
繰延ヘッジ損益	78	30
土地再評価差額金	4,563	4,409
為替換算調整勘定	△39,640	△27,179
在外子会社の退職給付債務調整額	△3,793	△4,129
その他の包括利益累計額合計	△35,624	△21,460
少数株主持分	28,399	30,870
純資産合計	219,826	244,272
負債純資産合計	982,473	1,013,360

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	353,519	398,411
売上原価	284,755	308,645
売上総利益	68,764	89,766
販売費及び一般管理費	58,138	62,327
営業利益	10,625	27,438
営業外収益		
受取利息	212	211
受取配当金	395	344
持分法による投資利益	—	231
その他	2,275	3,527
営業外収益合計	2,883	4,315
営業外費用		
支払利息	4,646	4,303
持分法による投資損失	2,333	—
その他	1,961	1,819
営業外費用合計	8,941	6,122
経常利益	4,567	25,631
特別利益		
固定資産処分益	2,502	1,253
その他	498	89
特別利益合計	3,001	1,343
特別損失		
固定資産処分損	1,682	1,036
その他	1,222	583
特別損失合計	2,905	1,619
税金等調整前四半期純利益	4,663	25,355
法人税等	4,189	14,537
少数株主損益調整前四半期純利益	474	10,817
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△64	640
四半期純利益	539	10,176

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	474	10,817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△963	2,156
繰延ヘッジ損益	△6	△48
為替換算調整勘定	1,629	12,154
在外子会社の退職給付債務調整額	84	△336
持分法適用会社に対する持分相当額	743	2,511
その他の包括利益合計	1,488	16,437
四半期包括利益	1,962	27,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,870	24,494
少数株主に係る四半期包括利益	92	2,760

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,663	25,355
減価償却費	18,860	19,649
のれん償却額	1,014	1,082
持分法による投資損益(△は益)	2,333	△231
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	702	34
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,847	△2,546
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△97	△31
賞与引当金の増減額(△は減少)	△21	203
貸倒引当金の増減額(△は減少)	128	12
資産撤去引当金の増減額(△は減少)	△103	△2
その他の引当金の増減額(△は減少)	△194	△891
受取利息及び受取配当金	△607	△556
支払利息	4,646	4,303
投資有価証券売却損益(△は益)	△35	△26
固定資産処分損益(△は益)	△823	△216
売上債権の増減額(△は増加)	6,198	10,824
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,340	△3,291
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,621	△5,008
その他	2,263	3,454
小計	31,116	52,116
利息及び配当金の受取額	855	908
利息の支払額	△4,842	△4,462
法人税等の支払額	△2,822	△10,751
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,307	37,811
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△242	818
固定資産の取得による支出	△13,893	△17,599
固定資産の売却による収入	4,116	1,750
投資有価証券の取得による支出	△310	△148
投資有価証券の売却による収入	178	323
貸付けによる支出	△483	△1,167
貸付金の回収による収入	1,136	2,500
その他	207	152
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,290	△13,371

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△27,753	△9,261
長期借入れによる収入	26,815	32,352
長期借入金の返済による支出	△25,598	△50,233
社債の償還による支出	△10,208	△238
社債の発行による収入	20,800	15,350
自己株式の取得による支出	△6	△25
自己株式の売却による収入	0	54
配当金の支払額	△2,457	△2,457
少数株主への配当金の支払額	△419	△415
その他	△1,644	△2,493
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,472	△17,369
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	125	1,925
現金及び現金同等物の期首残高	△5,330	8,995
現金及び現金同等物の期首残高	59,785	54,408
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△70	△263
現金及び現金同等物の四半期末残高	54,384	63,140

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	セメント	資源	環境 事業	建材・ 建築土木	セラミッ クス・ エレクト ロニクス	計				
売上高										
(1)外部顧客への 売上高	228,233	32,074	32,438	33,074	6,897	332,717	20,802	353,519	—	353,519
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5,937	8,839	2,759	1,928	18	19,483	10,883	30,367	△30,367	—
計	234,170	40,913	35,197	35,003	6,915	352,201	31,686	383,887	△30,367	353,519
セグメント利益 又は損失(△)	6,207	1,613	3,147	△783	△736	9,447	1,283	10,731	△106	10,625

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、エンジニアリング事業、情報処理事業、金融事業、運輸・倉庫事業、スポーツ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	セメント	資源	環境 事業	建材・ 建築土木	セラミッ クス・ エレクト ロニクス	計				
売上高										
(1)外部顧客への 売上高	251,945	36,004	46,498	37,280	5,490	377,219	21,192	398,411	—	398,411
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5,629	9,544	2,372	2,061	3	19,611	11,322	30,933	△30,933	—
計	257,574	45,548	48,871	39,342	5,494	396,830	32,514	429,345	△30,933	398,411
セグメント利益 又は損失(△)	18,516	3,445	3,862	611	△108	26,327	1,353	27,680	△241	27,438

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、エンジニアリング事業、情報処理事業、金融事業、運輸・倉庫事業、スポーツ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。